

## 【上毛電気鉄道株式会社】

上毛電気鉄道は大正15年に開業し、現在も中央前橋駅～西桐生駅間を毎日走り続けています。昭和3年に建築された大胡電車庫は国登録有形文化財にも登録されており、今も昔の姿のまま木造の電車庫として使われています。



電車庫だけではなく、通常では見ることのできない700形車両の検査風景や電車（デハ101、デハ104）、電気機関車（デキ3021）を見学することができます。中でもデハ101電車は開業以来88年間走り続けている貴重な電車です。

上電の夏と言えば「風鈴電車」。水族館電車など季節に合ったデコトレインも上毛電気鉄道の魅力の1つです。まだ乗車したことがない方は、夏の思い出づくりにいかがですか。（文：黛）



- 所要時間: 交流の家から約30分
- 住所: 〒371-0232 群馬県前橋市茂木町138-1
- TEL: 027-231-3597
- ホームページ: <http://www.jomorailway.com>
- 大胡電車庫見学
- 時間: 13:00～15:00(要予約)
- 構内入場料: 170円
- ※学校等のグループ要相談、入場料は無料

## リレーcolumn すたっぷの目

## 『食わず嫌い』

文: 落合 哲郎  
【おちあい てつろう】



いつも冷静な立ち振る舞いとは裏腹に、誰にも負けない熱い想いを心に秘めている落合さん。彼の熱い気持ちは、どんな場所に行っても、周りの人々の心を動かしてくれるでしょう。

私は韓国人が嫌いだった。メディアでは日本と韓国の諍いのニュースをよく見るし、WEB上の韓国に関連する記事には、必ず韓国を非難する言葉が連なる。

それは「食わず嫌い」に似ていた。食べたことがなくせに、見た目や人の「まずい」という言葉のみで嫌いになってしまう。

私は多文化共生事業の担当になった。初めて直接韓国人と話し、飲み、キャンプし、そして韓国を訪問した際は素敵な歓迎を受けた。私が関わった韓国人は皆いい人だった。もちろん、好きなところも苦手なところもあったが、全て直接自分で感じた体験だからこそ嫌いになどならない。

あなたの嫌いなもの。それは食わず嫌いではないですか？（文：落合）

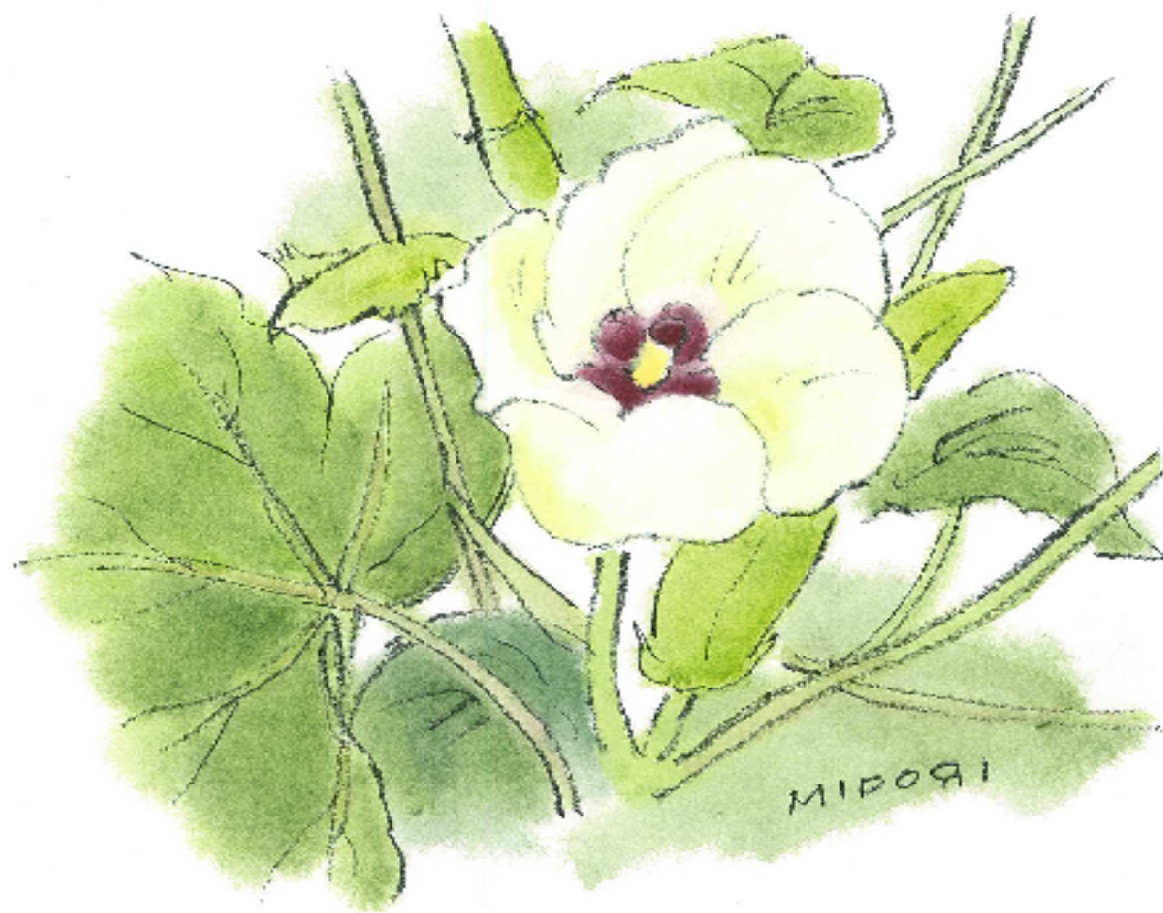
## つぶやき田

### 【テーマ：私の夏の楽しみ方】

- 前橋の夏の暑さは有名なので、足が向くところは山の上か、室内の涼しいところで楽しみます。（松崎）
- ここ数年、夏の日中は暑すぎる日が多いので、夕立のあった夜に、涼しい部屋で休むのが一番の楽しみです。（高橋浩）
- 唐突ですが、何気に夏が好きです。ビアガーデン、花火、海水浴など考えるだけで笑みがでる今日この頃です。（丸山）
- 登山が趣味なので、高山の上は夏でも涼しくて最高ですね。山頂にたどり着くまでに大汗をかいてしまいますけど。（原田）
- 梅雨の間に漬けた梅シロップや梅酒を炭酸で割って飲むことです。（森田）
- 「ぶどう狩り、BBQ、いちごのかき氷…」楽しかった子どもの頃を再現して心穏やかに過ごしたいです。（鈴木）
- ビール・枝豆・パーベキュー…夏の定番だが、やはり私にとって欠かせない。今年もこれに暑さに勝つぞ！（笹木）
- いつか船舶免許をとって、夏は海や川の上で過ごすのが夢です。そのために今は、体力をつけるため子供を背中のにせ、毎日腕立てをしています。（阿左見）
- 夏と言えば高校野球。今年もできるだけ球場に行って応援します。毎年夏の恒例の富士山登山は今年で5回目です。（黛）
- 子どもの頃から「川遊び少年」でしたので、この夏は南牧村の清流にヤスを持って行きたい！（杉浦）
- 冷たいそうめんに刻んだネギやシソ、ミョウガを入れて食べます。シソジュースや梅ジュースで夏バテ知らず。（渡邊）
- 暑くなる前の早朝の清々しい空気の中、庭で犬たちと一緒に朝食。ハーブサラダやコーヒーが最高！（大工原）
- 蚊取り線香(蚊取りぶた使用)を焚いて扇風機にあたりながらアイス片手に怪談本を読む。確実に涼しくなります。（手島）
- 渋川夏祭りに向けて近所で行われている太鼓の練習を、夕涼みがてら子どもと散歩しながら眺める。（田野崎）
- キャンプの夏は必ずショートにします。祭りで浴衣を着て来年こそは決意するも、今年も切ってしまいました。（高橋悠）
- 2年連続で富士登山をしています。去年のご来光は晴天だったためとても綺麗でした。今年も登るかは検討中。（田中）
- 春夏秋冬走ります。夏は、昼間涼しい木々の下でジョギングをします。新鮮な空気と走ったあとのビールに乾杯です。（飯沼）
- 夏の楽しみ方はお祭りです。花火大会で打ち上げ花火を見たり、夜店をぶらりと歩くのが楽しいですね。（根本）
- 今までは夏の楽しみはなかったのですが、今年は夏山トレッキングやアウトドアで楽しむことができそうです。（田村）
- 暇さえあれば、ゴルフ場に向き、スカット一発打つのが夏の楽しみ方です。みなさんもゴルフいかがですか。（小倉）
- 温度差の激しい今日この頃ですが、皆さん体調はいかがですか？今年の夏は、キャンプを楽しみたいと思っています。（佐藤）
- 自分の頑張った準備で子ども達が笑顔になる。一番の楽しみです。（落合）
- 夕立の後の空を眺めるのが大好きです。いつもより大きく見える空、涼しい風、ひぐらしの声…夏の醍醐味ですね。（大濱）

## 風と太陽のくにからの通信誌

# カラゴロリ



## 「オクラ」

夏野菜として馴染みの深いオクラ。実はハイビスカスと同じ「アオイ科」の植物で、薄い黄色の美しい花を咲かせます。

オクラに含まれるネバネバ成分の正体は、食物繊維。整腸作用があり、体中のコレステロールを排出するはたらきを持っています。また、夏バテに効果のある栄養もたくさん含まれています。

茹でてそのまま食べるもよし、炒めたり揚げて食べてもよし。夏野菜を美味しく食べて、暑い夏を乗り切りましょう。

## 風のおと

## 『群馬の野菜』

小麦畑がいつの間にか田んぼに変身してしまうことに赴任当時はびっくりしましたが、今では群馬県らしい初夏の風景に感じています。

長ネギやちぢみほうれん草は冬の名野菜ですが、夏の陽光をたっぷり浴びた群馬の野菜も名産がたくさんあるようです。

完熟トマト、もぎたてトウモロコシが食べられるのも、産地に住んでいる特典です。美味しさを知っている方も多く、農産物直売所は、どこも午前中から賑わっています。「もぎたてのオクラも最高だよ」と生産者の方に聞いたので、今年の夏はぜひ挑戦した

と思っています。

群馬県の野菜の生産量を調べてみると、嬭恋村や長野原町などで作られているキャベツは全国第一位、キュウリは前橋市、館林市などで作られ全国第2位、ほうれん草、なす、レタスなどは全国第3位など、実は野菜王国だったのです。

“野菜ざらい”が多いと言われてはいますが、産地のそれは別格です。

また、当所の食堂で出されている野菜ゼリーも好評です。  
所長 杉浦俊之

次号は、  
10月1日発行予定！

体験の風を  
おこそう

「交流の家HP」  
「Facebook」で  
当所の情報を更新中



国立赤城青少年交流の家 <http://akagi.niye.go.jp/>

TEL:027-289-7224 (9:00~18:00) FAX:027-289-7226

あかぎ カラゴロリ

検索

〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山27 E-mail:akagi@niye.go.jp



## 夏の野外活動での 注意点について

夏の活動は普段よりも注意が必要です。高温多湿、直射日光、不安定な天候、虫の被害など留意すべき点は様々です。半ソデ半ズボンの服装による虫さされや、寝不足などによる体調不良など時々見受けられます。安全かつ円滑に活動ができるように、活動前に職員と打ち合わせを行い、最新情報の確認をお願いします。

「熱中症予防」「スズメバチへの対応について」「落雷への対策について」、交流の家のホームページにて掲載していますので、参考にしてください。

(文:鈴木)

## ～あかぎの植物紹介～

綺麗に刈り込まれた庭木の間を縫って、駐車場周辺の植え込みの隙間など様々なところから顔を出している、赤みを帯びたつる。

交流の家に限らず、皆様の周辺でもしばしば見かけられると思われるこちらの植物の名前は『ヤブカラシ』。名前の由来は他の植物の藪までも枯らしてしまう程の繁殖力です。困った雑草ではありませんが、あく抜きをし、酢の物や和え物にしたり、油で揚げると中々美味しく食べられる植物でもあるようです。

庭や道端など、皆さんの身の回りにもきっと生えています。ぜひ探してみてください。

(文:森田)



## 赤城山ツーリズム 第2回

空梅雨の休日に真夏日になる予報だったので、涼を求めて赤城山へ行きました。レジャーシートを広げ、買ったまま読んでいない本を数冊と、飲み物を用意。それから、釣り道具。とても穏やかで、のんびりとした時間が過ぎて、持ってきた本たちを読み終え、鳥や水辺の小魚を観察。その後はお店に入り、遅いランチとお茶をしながら湖面をぼんやり眺めて考える。次の休日は何をしよう？何がしたい？そんな時は赤城大沼付近でキャンプ、バーベキュー、ボート、周遊散策、山登り、自転車なんてどうでしょう？

ゆったりと大沼で過ごす時間、ふらっと立ち寄っても楽しめるこの場所を知らない方はきっとたくさんいるのではないかと思います。今年もまた暑い夏がやってきます。そんな時は赤城山に涼を求めに行きませんか。あなたのお気に入りの過ごし方が見つかるはず。知らないともったいない！赤城山はそんな場所です。

(文:大崎つりぼり 大崎さん)



赤城大沼に釣りに行った際の様子。いい景色を眺めながら、ゆったり、のんびり過ごせそうです！

## プログラム 紹介！

### 【あかぎネイチャー ガイドブック】

利用者の皆さんが自然の恵みをプログラムに活用できるよう、昨年度末に発行された『あかぎネイチャーガイドブック』。本を開いてみると、交流の家の中で観察できる植物が、季節ごとにたくさん紹介されています。難しい説明は避け、触ったり、嗅いだり五感を使った楽しみ方も解説されているのがこのガイドブックの特徴です。また、その植物が交流の家の中のどこで観察できるのかも載っています。

引率の方や指導者の方向けに、「ネイチャープログラム」の紹介もしています。木の実や植物を活用して楽しむアクティビティから、それらのアクティビティを盛り込んだ宿泊プログラムのモデルまで、交流の家で活動する際に役立つ、様々な情報を提供しています。このあかぎネイチャーガイドブックは、一団体一冊まで無料でお持ちいただけます。ご希望の方は、交流の家の事務室までお越しください。

子どもたちにとって森は、発見の場であり、不思議に満ち溢れている空間です。このガイドブックを手に、ぜひ森の中を歩いてみてください。きっと、普段の生活では気付かない発見がたくさんありますよ。(文:阿左見)



国立赤城青少年交流の家で活躍する、非常勤講師やボランティアの方をご紹介します

## この人に会いたい

●国立赤城青少年交流の家「レストラン赤城」運営



しもだいら  
ユーレストジャパン株式会社 下平店長

下平さんは、7年前から交流の家の食堂で働いています。今年の春からは、店長として交流の家を支えています。実は30年前、交流の家が「赤城青年の家」という名称であった時代にも勤めていた経験があるそうです。

食堂の献立で心がけていることは、偏った食事にならないように野菜を多く取り入れることだそうです。ここ1、2年で献立に入ったグリーンカレーもその一つです。珍しくて、初めて食べる人が多いようですが、こちらはほうれん草のカレーです。苦手な人でも食べられるように、ほうれん草がペースト状になって入っています。

そんな下平さんの将来の夢は、ヤングじいちゃん。歳を取ってもハーレーを乗り回すような元気な人でありたいと、語っていました。

バイク、園芸、釣り…書ききれない程多趣味な下平さん。受付にいたら話しかけてみてください。みなさんの趣味と合うかもしれませんよ。

(文:渡邊)



多趣味で明るくて、とっても若い印象の下平店長。きっと素敵な「ヤングじいちゃん」になってくださるでしょう！

## ボランティア養成セミナー

5月14日(土)～15日(日)の1泊2日でボランティア養成セミナーを開催しました。高校生12名、大学・専門学校生15名、社会人4名の合計31名の参加がありました。



大学の教授による救命救急法の講義や実技、機構本部の方や交流の家の所長からの青少年教育についての講義を受けました。演習では、あかぎアドベンチャープログラムや火付け体験を行いました。ボランティアの意義について考えるグループワーク、先輩ボランティアや交流の家の職員と語り合う時間も活発な意見交換が行われました。最後には先輩ボランティアから、交流の家でできるボランティア活動の紹介がありました。

参加者の方からは「今後の活動につなげていきたい。」という声が多く、セミナー終了後にも新しく知り合った方や先輩ボランティアと今後のつながりを確認し合う様子が見られました。セミナーを受講してくださった方が、今後の活動に一步踏み出してくださることが最も大切であるということを感じることができました。(文:田野崎)



様々な立場の方が、同じ志を持って集まりました。参加者同士の強いつながりも生まれたようです。

## あかぎ南ろく桜フェスタ

2016年4月9日(土)に第5回あかぎ南ろく桜フェスタが開催されました。このフェスタは国立赤城青少年交流の家を多くの方に知ってもらうとともに、体験活動の推進、地域との連携を目的に開催しています。



今年には天候にも恵まれ、桜の花も満開で1,500人以上の方にご来所いただきました。地域のみならず、出店団体のみならずにもご協力いただき、飲食ブース、体験ブース、コンサートステージなど約40団体の参加がありました。

昨年までと違い、今年はシートを敷いてゆったりとお花見を楽しんでいるご家族が多く見られました。他にも地元の方が特産物を売っていたり、体験に夢中になっている子どもたちやコンサートで普段の練習の成果を発表している団体など、たくさんの笑顔と感動が溢れていました。

これからも地元のみならずにとってもっと身近で利用したいと思っただけのような施設となるよう、このようなイベントを引き続き行っていきます。10月23日(日)には秋のフェスタを行いますので、また赤城の森にお越しください。(文:黛)



子どもたちもいろいろなブースで、心ゆくまで楽しんでくれた様子でした！



## これからの動き

下記の事業の詳細はこちらまでお問い合わせください⇒TEL:027-289-7224(国立赤城青少年交流の家)



### 【赤城やまなみチャレンジキャンプ】

●8月13日(土)～20日(土)7泊8日

※事前説明会 7月24日(日)  
仲間と一緒にテント泊しながら、赤城山を構成する七山を巡ります。赤城山の自然を満喫できる、長期の冒険キャンプです。

仲間と協力しながら、困難を乗り越える7泊8日を過ごすことで最高の達成感を味わえる企画になっています。

### 【あかぎサンサンかがやきキャンプ】

①7月31日(日) 日帰り  
②9月10日(土)～11日(日) 1泊2日  
③2月18日(土)～19日(日) 1泊2日

障がいのある、なしに関係なく、誰もが楽しめるキャンプです。今年度は3回開催します。開催時期の季節に合わせた、楽しいプログラムを予定しています。

### 【ふじみフレンドシップキャンプ】

●8月6日(土)～7日(日) 1泊2日  
●11月25日(金)～27日(日) 2泊3日

前橋市富士見地区に住む、小学生4～6年生を対象としたキャンプです。

地元、富士見に住む子ども達が地域の自然や文化の素晴らしさを再発見する活動を通して、富士見の各小学校同士の交流を深めてくれることをねらいとしています。